

**台風5号上陸  
自主避難66人 伊方小斜面も崩落**

8月2日の夜に強い台風5号が上陸、九州・四国を暴風域に巻き込みながら勢力を保ち北上しました。福智町では、本庁、中央公民館、金田分館、方城分館、コスモス保健センターの5か所に66人（30世帯）が自主避難。風雨が強まるなか、不安な一夜を過ごしました。幸い、けが人は出ま  
せんでしたが、法面の崩落など数件の被害を及ぼしました。



グラウンドの斜面が崩落した伊方小学校、翌日の3日に町消防団が応急処置。

守備側が運んで作った馬を、攻撃側が跳びのって壊すゲーム「馬乗り」。



**児童センター夏休み特別企画  
昔なつかし遊びの達人**

元気をこまを回したり真剣に折り紙をする子どもたち。8月24日に方城児童センターで夏休み特別企画が行われ、約30人の児童が参加。けん玉やあやとりなどの昔ながらの遊びを指導員たちと一緒に楽しみました。12種類の遊びそれぞれに課題が設けられていて、そのうち10以上をクリアできた参加者には「遊びの達人」の免許と称号が与えられました。

**金田・神崎・弁城・伊方地区で環境美化清掃  
燃ゴミ7トン 不燃ゴミ200kgを収集**

8月5日に「金田神崎地区第1回環境美化運動」と「方城地区町内一斉清掃」が行われました。各地区でボランティア袋を手にしたみなさんが、空き缶などを丁寧に収集。この日、燃えるゴミ約7トンと燃えないゴミ約200kgが集められました。地域によっては、草刈りなども行われ、お盆の帰省シーズンを前に、スッキリした景観を取り戻しました。



子どもから大人までの共同作業で、地域がピカピカになりました。

加藤さんが愛用している電動車いすを金田保育園の年長園児が体験。



**障がい乗り越え名古屋出身加藤さん  
日本縦断で福智入り 園児とふれあい**

右脚の障がいに負けず「命の尊さと福祉の充実を世の中に訴えたい」と、徒歩や電動車いすで日本縦断している名古屋出身の加藤清行さんが、8月16日に福智町入りしました。この日、加藤さんは役場に立ち寄ったあと、金田保育園の年長園児19人と交流。障がい者の視点をはじめ、日本縦断を決意したときの思いなどを伝えました。

厳かな雰囲気の中、往事に思いをはせながら祭主として献花する浦田弘二町長。



**福智町合同慰霊祭  
ふるさと発展の思いを胸に**

8月25日に公民館金田分館で戦没者・炭坑殉職者・物故者の合同慰霊祭が社会福祉協議会の主催でしめやかに行われました。参加した約120人が黙とうをささげ、同会会長の浦田弘二町長が「地域に尽くした皆さまの力を引き継いでいきます」と失われた尊い命への感謝を込めた祭文を読み上げました。厳肅な雰囲気  
のなか、参加者たちは町の礎を築いた先人への思いを胸に、これからの平和と町の発展を願いながら白い花を敷き詰めた祭壇に献花しました。

**平成19年度福岡県観光功労者表彰  
虎尾桜の保護活動に団体で唯一の表彰**

本年度の福岡県観光功労者表彰に「虎尾桜を心配する世話人会」が選ばれ、8月1日に県庁で表彰されました。同会は平成元年に推定樹齢600年のエドヒガン「虎尾桜」を発見。枯死寸前の状態を献身的に治療し、周辺整備や広報活動を積極的に行いました。今回、観光資源の保護と環境美化の功績が評価され、団体では唯一の表彰を受けました。



表彰を受ける熊谷信孝会長。個人で8人、団体では唯一の観光功労者表彰。

親子連れも多数参加、親善大会ということで順位なしの交流を楽しみました。



**三世交代交流グラウンドゴルフ大会  
ナイターの照明を浴びながら、ホールポストを目指した。**

異世代間交流と町内の親睦を目的としたグラウンドゴルフ大会が、7月31日に開催されました。教育委員会の主催で子育連が後援し、およそ500人が参加。予想以上の人数に金田スポーツ公園と方城グラウンドの2会場に分け、ゲームが進められました。両会場とも幅広い年代のみなさんがナイターの照明を浴びながら、ホールポストを目指しました。